

2026年4月22日

第150回 全国大学国語教育学会・新大阪吹田大会のご案内(第2次)

第150回全国大学国語教育学会 新大阪吹田大会実行委員会

1. 開催日：2026(令和8)年5月30日(土)～5月31日(日)

※ 公開講座は5月23日(土)にオンライン開催

- ・ 事前の参加申込手続きが原則です(当日はオンライン申込のみ、会場は受付デスクなし・現金不可)。以下(特に5.)の参加申込手続きをPC等で済ませてからご来場ください。
- ・ 会場の大和大学はeduroam参加機関です。eduroam アカウントのない方は、モバイルWi-Fiをお持ちになるか、資料を宿でご来場前にダウンロードするなどしてください。

2. 会場：大和大学 大阪吹田キャンパス **F講義棟** [情報学部・政治経済学部棟] 〒564-0082 大阪府吹田市片山町2-5-1 (JR新大阪駅から2駅・JR吹田駅より550m)

- 交通アクセス <https://www.yamato-u.ac.jp/about/access/>
- キャンパスマップ(1の棟) <https://www.yamato-u.ac.jp/about/campus/>
 - ・ スタッフによる誘導はありません(「大和大学」で検索 ×西門[土日施錠] △当日は高知県教員採用試験も実施)。正門を入り、すぐ右手の建物を中庭沿いにお進みください。
 - ・ 宿の確保は各自でお願いします。JR吹田駅でなくJR新大阪か大阪駅周辺に豊富にあります。
 - ・ 公共交通機関をご利用ください(JR・阪急吹田駅より徒歩)。車での来場はお勧めしません(※会場は車両入構禁止、正門前路肩停車も禁止/※近隣スーパー駐車場は利用客向け)。

3. 開催日程

第1日 5月30日(土)	第2日 5月31日(日)
8:45 開場 ※	9:00 開場 ※
9:30 自由研究発表	9:30 課題研究発表
12:20 昼食 理事会	12:00 昼食
14:00 総会	12:25 若手研究交流企画
15:10 シンポジウム	13:40 自由研究発表 ラウンドテーブル
17:40	16:30
18:00 懇親会	※ 受付なし (会場での当日現金申込不可/オンラインで申込手続きを済ませてからご来場ください)
20:00	* 公開講座は別日程 5月23日(土) 14:00～17:00 オンライン開催 【要・別途申込】定員1000名・無料

4. プログラム

※ 自由研究発表・ラウンドテーブルのタイトル、発表者・コーディネーター・登壇者の氏名、所属の標記は、ご本人による登録内容を原則としてそのまま転記しています。

※ プログラム作成は入念に行いましたが、誤植等があれば大会事務局(末尾)までご一報ください。

<第1日 5月30日(土)>【午前】

○ 自由研究発表 9:30~12:20 発表20分 + 質疑応答10分、接続5分

第1会場 F201 講義室 司会 佐野比呂己(北海道教育大学) 望月善次(元岩手大学)

- ①01-1 国定国語教科書における伝統芸能の受容 —国語科における芸能文化の教材化の成立— 井関千尋 (福島大学大学院・院生)
- ①01-2 1930年代の富山県における読方教育に関する一考察 松本圭朗 (近畿大学)
- ①01-3 主体的・探究的に読む国語科授業の創造 —「考えの形成」のプロセスに着目した一考察— 長屋樹廣 (北海道教育大学釧路校)
- ①01-4 柳田高校国語科教科書における「私の受けてきた教育」(山川菊栄)の教材化 佐野比呂己 (北海道教育大学)
- ①01-5 国語科教育学の原理的考察(十) 望月善次 (元岩手大学)

第2会場 F202 講義室 司会 上田祐二(北海道教育大学) 植山俊宏(京都教育大学)

- ①02-1 令和の日本型教育に求められる評価方法の模索 — Jung(2024)の評価論をもとに— 釘宮里枝 (大分県教育庁)
- ①02-2 国語学習実践における「問う」ことの意味 森一滋 (福岡県教育庁筑豊教育事務所)
- ①02-3 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が「問い」の扱いをどう変えるか —小学校3年生文学教材の単元デザインを通して— 平井りい子 (沖縄女子短期大学)
久貝真紀 (那覇市立仲井真小学校)
- ①02-4 ICT活用で言語活動と言語活動に関連する学習用語使用を評価する国語科授業評価論 —初等国語科教育法受講生のフィラー(学習用語)の用語使用・概念使用の検証から開発する— 柳谷直明 (北海道栄高等学校、北海道教育大学札幌校)
- ①02-5 国語教育における学びの個別化に関する基礎的検討 —アフォーダンス理論を手がかりに— 竜田徹 (佐賀大学)

第3会場 F203 講義室 司会 中村和弘(東京学芸大学) 中村敦雄(明治学院大学)

- ①03-1 中学校における書道パフォーマンスの指導モデルに関する実践的研究 —制作過程の可視化を重視した試行的アプローチの検討— 村田真樹 (広島市立日浦中学校)

①03-2 【辞退】

- ①03-3 量子認知モデルとしての「辞書引き学習」の概念化とデジタル実装の可能性 —日本・シンガポール・英国・インドの初等教育における第一言語教育での実装化— 深谷圭助 (中部大学)
- ①03-4 小学4・5年生における二字漢字語の意味推測 本多由美子 (国立国語研究所)
松下達彦 (国立国語研究所, 総合研究大学院大学)
新井智大 (明治大学大学院・院生, 国立国語研究所)
- ①03-5 漢字に関連する語彙表についての検討 —難易度に基づく整理を中心に— 富安慎吾 (島根大学)

第4会場 F204 講義室 司会 長田友紀(筑波大学) 山元悦子(福岡教育大学)

- ①04-1 平成11年版学習指導要領下の高等学校における「話すこと・聞くこと」 小川一美 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)
- ①04-2 学習者の問い生成と意見形成の相互作用 —修辞ユニット分析によるグループ発話の考察— 中尾聡志 (熊本市立健軍東小学校, 兵庫教育大学連合大学院学校教育研究科)
- ①04-3 サークル対話での「質問すること」に関するメタ認知的知識の変容 —入門期の学習者の関係性に注目した分析を通して— 大村幸子 (東京学芸大学附属小金井小学校)
- ①04-4 対話指導における〈トーク音読〉の効果 北川雅浩 (熊本大学)
- ①04-5 共通語指導における共通語と方言との関係性 —此島正年を中心に— 原田大樹 (西南学院大学)

第5会場 F205 講義室 司会 渡部洋一郎(上越教育大学) 児玉忠(宮城教育大学)

- ①05-1 自己効力感を高める高等学校短歌創作実践 —国際バカロレア教育理論を援用して— 影山恵礼名 (神奈川県立松陽高等学校)
- ①05-2 キャラ概念を援用した国語表現の授業実践 —自分らしさって何だ?— 西澤萌希 (早稲田大学)
- ①05-3 ショート・ショート教材を活用した中学校物語創作の実践研究 常塚優里 (京都教育大学・科目等履修生)
- ①05-4 詩との出会いを通じた大学課程での内発的学びの可能性 —思春期児童・生徒による詩作品をめぐる鑑賞・創造活動から— 加藤恵美子 (桃山学院大学)
- ①05-5 「書くこと」における語り手を育む創作指導の基礎的検討(3) —西郷竹彦「虚構の作文」を手がかりに— 井口あずさ (甲南女子大学)

第6会場 F206 講義室 司会 森田香緒里(文教大学) 河野順子(元白百合女子大学)

- ①06-1 論理的に書くために読む指導の効果検証 渡辺真由美 (越谷市立北越谷小学校)

- ①06-2 「論理国語」におけるフレームワークの活用 —ピラミッド・ストラクチャーで論理的文章を書く— 高野光男 (元都立産業技術高専)
- ①06-3 論理的文章を「書くこと」の授業提案 (高等学校) 長谷川祥子 (青山学院大学)
- ①06-4 中学校国語科における「書くこと」の学習の評価研究 —小論文評価の観点及び評価実践研修をもとにして— 西山明人 (東京農業大学第三高等学校附属中学校)
- ①06-5 【辞退】

第7会場 F306 講義室 司会 古賀洋一(島根県立大学) 吉川芳則(神戸女子大学)

- ①07-1 批判的思考を促す説明的文章の学習デザイン 山本康生 (上越教育大学教職大学院・院生)
- ①07-2 学習者の世界観の再構成を促す説明的文章の学習指導 —〈文脈〉を授業デザインの核として— 西脇陽介 (名古屋市立春田小学校)
- ①07-3 他者との交流によって自己の言葉が再構成される「関係の意味性」の多様さ —説明的文章「言葉の意味が分かること」(小学5年)の初発の感想交流の分析を通して— 野中太一 (暁星小学校)
- ①07-4 論理的文章を「読むこと」の学習指導研究 (小学校) —小学3・4年の教材を中心に— 西山悦子 (東京未来大学)
- ①07-5 中学校・説明的文章入門期の読み方指導 —『ダイコンは大きな根?』と『ちょっと立ち止まって』をどう読むか— 丸山義昭 (法政大学(非常勤))

第8会場 F401 講義室 司会 足立幸子(新潟大学) 鶴田清司(元都留文科大学)

- ①08-1 文学教育におけるクリティカル・リテラシーの理論的検討 村鳥舞弥 (広島大学大学院・院生)
- ①08-2 物語教材における学習者自身による初読の妥当性の評価 —生成 AI を活用したテキスト理解プロセスの肯定的自認— 齊俊次 (国本学園国本小学校)
- ①08-3 読むための問いとなるための問い —読めなさや演じられなさから生起する学習者の立ち止まりに着目して— 高木公裕 (吉野ヶ里町立三田川小学校)
- ①08-4 文学の読みの学習における「語り手との対話の回路」の措定に関する理論的検討 —「間テキスト性」の非対称性に着目して— 上月康弘 (松本大学)
- ①08-5 文学的文章の読解方略に関する調査研究 —小学校4・5年生を対象に— 長岡由記 (滋賀大学)
野間隆秀 (滋賀大学教育学部附属小学校)
柴原茜 (滋賀大学教育学部附属小学校)
伴野彰宣 (滋賀大学教育学部附属小学校)

第9会場 F301 講義室 司会 勝田光(筑波大学) 石田喜美(横浜国立大学)

- ①09-1 芦田恵之助の読み方指導にある今日的意義(1) —考
えの根拠箇所を音読することによる低位層への支援効
果に着目して— 須佐宏 (和歌山大学)
- ①09-2 「海の命」とヘゲモニックな男性性 木村季美子 (武庫川女子大学)
- ①09-3 戦争児童文学の読みにおける学習経験の転移 —社会
文化的アプローチに基づく「模型のまち」の授業分析か
ら— 丸田健太郎 (広島大学附属小学校)
- ①09-4 「書けなさ」の物語としての「スワンレイクのほとり」 永井ほのり (目黒区立原町小学校)
- ①09-5 学習者の読みの反応とジェンダーの影響 —「少年の日
の思い出」「走れメロス」の初発の感想分析から— 明尾香澄 (奈良教育大学)

第10会場 F302 講義室 司会 河野智文(福岡教育大学) 幾田伸司(鳴門教育大学)

- ①10-1 文学の読みにおける教師のファシリテーション機能に関
する授業分析 太田諒平 (上越教育大学教職大学院・院
生)
- ①10-2 生涯読書へつながる中学校国語科文学作品の比較・考
究学習に関する実践研究 —『少年の日の思い出』を
中心に— 代田千晴 (京都教育大学大学院)
- ①10-3 戦争と身近な暴力を結びつける中学校国語科平和教
育の実証的研究 —学習者の読みの過程に着目して— 樋口航生 (向日市立寺戸中学校)
- ①10-4 物語教材における探究的な学びの創造 —『注文の多
い料理店』からイーハトーブを読み解く— 吉牟田幸子 (刈谷市立朝日小学校)
- ①10-5 文学表象によるカストロフィーの記憶の分有に関する
実践 —『少年が来る』における読みの体験と相対化を
通して— 高松美紀 (東京学芸大学附属国際中等
教育学校)

第11会場 F303 講義室 司会 住田勝(大阪教育大学) 山元隆春(広島大学)

- ①11-1 文学教材の英訳活動を通じた国語科・英語科の連携
—八木重吉「虫」の翻訳活動の分析— 守田智裕 (広島大学附属福山中・高等学
校, 広島大学大学院・院生)
- ①11-2 <審美的交流>を促す学習デザイン —「少年の日の思
い出」を用いた授業における問いづくりと読みの交流を
通して— 大島彩弥香 (上越教育大学附属中学校)
- ①11-3 物語の末尾における語り —「おにたのぼうし」の実践を
通して— 渡辺優菊 (品川区立八潮学園)
松本修 (元玉川大学教職大学院)
- ①11-4 物語構造に着目した演繹的読解の可能性 —Hero's
Journey の構造分析による授業実践の試み— 佐藤佐敏 (福島大学)
- ①11-5 文学テキストの読みを駆動する認知的道具に関する実
践的研究 —「少年の日の思い出」の授業実践の検討
を通して— 住田勝 (大阪教育大学)
西川和貴 (大阪教育大学附属池田中学
校)

第12会場 F304 講義室 司会 幸田国広(早稲田大学) 甲斐雄一郎(文教大学)

- ①12-1 漢文教育の未来を考える ―哲学、対話、教材― 中川雅道 (大阪教育大学)
- ①12-2 探究的な読みを促す授業設計に関する実践研究 ―文学教材『大造じいさんとがん』における新三読法を用いた指導過程に着目して― 明比宏樹 (広島都市学園大学)
- ①12-3 産業に関する古典資料を活用した古典教育教材についての一考察 ―大蔵永常「広益国産考」を例に― 清田朗裕 (愛媛大学)
- ①12-4 「古典探究」との接続を目指した中学校における古典教育の実践 篠原嶺 (奈良教育大学附属中学校)
- ①12-5 社会的合意形成への道筋をつくる国語科教育 ―古文、現代文の評論テキストの重ね読みの実践から― 澤口哲弥 (神奈川大学)

第13会場 F305 講義室 司会 余郷裕次(鳴門教育大学) 小川雅子(元山形大学)

- ①13-1 小学校国語科における伝統的な言語文化の学習指導に関する一考察 竹内孝彦 (元千葉大学教育学部修士課程)
- ①13-2 古典翻案活動における読解主体形成の構造 ―意味選択・意味構成・読解枠組みの自覚に着目して― 武久康高 (高知大学)
- ①13-3 世羅博昭『源氏物語』実践の生成過程 ―昭和49(1974)年度の実践を対象として― 井浪真吾 (京都外国語大学)
- ①13-4 古典文法学習における「問い」の傾向 ―教科書の手引きを中心として― 永田里美 (明星大学)
- ①13-5 気軽に和歌に親しみ鑑賞を促すための授業提案 ―単元 ―千年の I miss you― 下田実 (比治山大学)

<第1日 5月30日(土)>【午後】

○昼食 12:20～13:50 (シンポジスト弁当支給) 登壇者弁当引換：F101大会本部
※学生食堂は事前予約者のみ利用可

○理事会 12:20～13:50 (理事弁当は会場で配付) 会場：F405

○総会 14:00～15:00 会場：F402 *通常340席

○シンポジウム 15:10～17:40 (臨時増席にご協力ください)会場：F402 *後方椅子のみ
「理解方略」の学習指導を考える

― “デジタル・ファスト・リーディング”時代の社会参加と文化創造に必要な学習材と指導法―

コーディネーター 守田 庸一 (三重大学)

登壇者 (五十音順) 足立 幸子 (新潟大学)

天野 知幸 (京都教育大学)

古賀 洋一 (島根県立大学)

渡邊 久暢 (福井県立若狭高等学校)

○ 懇親会 18:00~20:00 大和大学学生食堂 ダイニングホール「大-TAI-」

<第2日 5月31日(日)>【午前】

○ 課題研究発表 9:30~12:00 (事後復旧にご協力ください)会場:F402 *後方椅子のみ

国語科教育研究の存立基盤 —〈枠組み〉としての教科—

コーディネーター 初谷 和行 (武蔵野大学)
登壇者 (五十音順) 上谷順三郎 (鹿児島大学)
酒井 英樹 (信州大学)
中村 純子 (東京学芸大学教職大学院)
森 篤嗣 (武庫川女子大学)

<第2日 5月31日(日)>【午後】

○ 昼 食 12:00~13:30 (課題研究発表者弁当支給) 発表者弁当引換:F101大会本部

※学生食堂は事前予約者のみ利用可

○ 若手研究交流企画 12:25~13:35 (どなたでもご参加ください) 会場:F402

○ 自由研究発表 13:40~16:30 発表20分 + 質疑応答10分、接続5分

第14会場 F201 講義室 司会 佐藤多佳子(上越教育大学) 寺井正憲(元千葉大学)

- ②14-1 国語科の授業におけるエージェンシーの創出 成田信子 (國學院大學)
- ②14-2 〈フロレゾン〉(開花構造) —〈共創的評価〉と〈潜在的共創解放リテラシー〉の相互生成プロセス— 梁梨花 (慶應義塾大学・院生, 横浜市立豊田中学校)
- ②14-3 国語科における「主体」に関する一考察 —学校支援プロジェクトにおけるアクションリサーチ— 工藤紗樹 (上越教育大学教職大学院・院生)
山本康生 (上越教育大学教職大学院・院生)
吉澤和志 (上越教育大学教職大学院・院生)
佐藤多佳子 (上越教育大学教職大学院)
- ②14-4 中学校国語科における学習意義の実感を促す自己調整学習の検討 —探究的な学習過程に着目して— 中山莉麻 (京都教育大学附属桃山中学校)
- ②14-5 省察型国語科授業における「発問」の位置 香月正登 (梅光学院大学子ども学部)
小泉芳男 (広島市立袋町小学校)
赤木詞友 (北九州市立鴨居田小学校)

第15会場 F202 講義室 司会 砂川誠司(愛知教育大学) 奥泉香(東京学芸大学)

- ②15-1 ICTを活用した「第2の教室」設置による新たな国語科学習モデルの開発② 一家庭学習における「個人の学習課題」の追究過程に着目して— 内山公介 (山口大学教育学部附属山口小学校)
- ②15-2 小学校国語科における「絵画読み」による言語運用能力の育成 高井大輔 (大阪市立加美南部小学校)

- ②15-3 国語科における概念の命名から教科横断的転移へ — メタ認知基盤形成の実践的検証— 長澤元子 (北海道函館西高等学校)
- ②15-4 有機的横断を図る探究型単元学習指導のこころみ 辻本祥宏 (三田市立広野小学校)
- ②15-5 多角的な視点から情報相互の関係を検討し、複層的に吟味・分類する学びを支援する学習材の開発 — 葉の広告を活用したデジタルキューブの開発— 奥泉香 (東京学芸大学)
渡邊裕 (東京学芸大学附属高等学校)
阿部由美 (東京学芸大学附属高等学校)
宮本淳子 (東京学芸大学)

第16会場 F203 講義室 司会 寺田守(京都教育大学) 府川源一郎(横浜国立大学)

- ②16-1 児童作文にみられる敬語の変遷 — 接頭辞「お」「ご」に注目して— 加藤恵梨 (愛知教育大学)
- ②16-2 小学校国語科における文体意識へのアプローチ(2) — 今西祐行作品を比べ読む実践— 大谷航 (尚絅学院大学)
- ②16-3 人称指定と自発的人称選択との比較 — 『走れメロス』における回顧録の実証分析— 遠藤正笛史 (福島大学附属中学校)
田川朗子 (田村市立船引小学校)
佐藤佐敏 (福島大学)
- ②16-4 道徳科教材と国語科教材の比較に基づく「世間」概念に関する一考察 — 「かぼちゃのつる」「ごんぎつね」を対象として— 新妻千紘 (東京家政大学児童学部児童学科)
- ②16-5 Sprachgefühl の系譜 — 欧州言語思想の文脈— 笹平真之介 (盛岡大学)

第17会場 F204 講義室 司会 細川太輔(静岡大学) 坂口京子(放送大学)

- ②17-1 アダプテーション研究から問い直す創作 — Alex Pinar(2019)のアダプテーション理論を手がかりに— 陣野靖広 (福島大学大学院・院生)
- ②17-2 中学校1年生の音読と黙読による推敲の特徴の比較 — 音読を作文指導で活用するという視点で— 吉田吏玖 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科)
- ②17-3 サークル対話と協同推敲で記号接地したことばの学びと他者とのつながりをつくる — フレネ教育を土台とした小学校低学年の国語の学び— 本田祐吾 (珊瑚舎スコール)
- ②17-4 「調べる綴方」の作品批評に見る教師の鑑識眼の特徴 — 1930年代の文集の検討を通して— 菊田尚人 (山形大学)
- ②17-5 英語圏における Teachers as Writers 研究に関する文献レビュー 澤田英輔 (福山平成大学, 広島大学大学院・院生)

第18会場 F205 講義室 司会 守田庸一(三重大学) 間瀬茂夫(広島大学)

- ②18-1 高校国語教科書における論理の知識領域 —高大接続・数学との比較の観点から— 名倉早都季 (立教大学 大学教育開発・支援センター)
- ②18-2 高等学校国語科における論理的な文章の「翻作」実践による価値の検証 —「読むこと」の力の育成との関連を中心に— 川崎順未 (北海道教育大学大学院・院生, 北海道釧路北陽高等学校)
- ②18-3 「二重の批評性」による評論教材の批判的読みの学習指導論 伊藤まりか (広島大学大学院・院生)
- ②18-4 批判的リテラシーの視点による学習者の学びの捉えなおし —小学6年「海の命」と原案「一人の海」を用いた授業実践— 塚本彩乃 (西宮市立鳴尾北小学校)
- ②18-5 中学生の批判的統合における読みの水準とテキスト参照の特徴 村井隆人 (大阪教育大学)

第19会場 F206 講義室 司会 羽田潤(兵庫教育大学) 高木まさき((公財)教科書研究センター)

- ②19-1 文学教材の教材研究過程に関する一考察 —リー・ショーマンの「教育的推論と行為」モデルをもとに— 伊藤圭亮 (上越教育大学教職大学院・院生)
- ②19-2 「韻文のリズムの内在化」における段階的な徴標 廣田鉄平 (横浜市立万騎が原小学校)
- ②19-3 詩の読解における要点駆動 —最後の一文への着目が読解過程に及ぼす影響— 岩崎直哉 (富山国際大学)
- ②19-4 ストーリー漫画の教材化 —行間を読む行為に焦点を当てて— 桃原千英子 (沖縄国際大学)
- ②19-5 「対話」を重視した劇化活動による文学教材の学習指導 —魯迅『故郷』の場合— 内藤三和子 (久留米市立櫛原中学校)

第20会場 F306 講義室 司会 富安慎吾(島根大学) 藤森裕治(文教大学)

- ②20-1 オマージュ的手法による漢詩学習 —竹村信治の respect を基に— 吉澤和志 (上越教育大学大学院・院生)
- ②20-2 『莊子』天下編教材考 —理系学級における漢文指導の一案— 樋口敦士 (狭山ヶ丘高校)
- ②20-3 学習者の「漢詩的経験」に関する基礎的考察 —「漢詩的経験」を促す授業の構築に向けて— 山田和大 (尾道市立大学)
- ②20-4 台湾におけるコンピテンシー・ベース漢文授業の検討 —『十二年国民基本教育課程綱要』に基づく現状と課題— 赫至琪 (広島大学教育室)
- ②20-5 「古典探究」の漢詩教材 西一夫 (信州大学)

○ ラウンドテーブル 13:40~16:30 (最長) 1時間30分~2時間50分

R-1 会場 F401 講義室 (○=コーディネーター)

「根拠・理由づけ・主張」を問い直す2

- 幸坂健太郎 (北海道教育大学)
- 福澤一吉 (明治大学)
- 鶴田清司 (元都留文科大学)
- 篠崎祐介 (東京学芸大学)
- 白川晋太郎 (福井大学)

R-2 会場 F405 講義室 (○=コーディネーター)

国語科における「手書き」活動の意義と「書写」指導のあり方

- 千々岩弘一 (鹿児島国際大学)
- 鈴木慶子 (長崎大学)
- 竜田徹 (佐賀大学)
- 鈴木貴史 (帝京科学大学)

R-3 会場 F301 講義室 (○=コーディネーター)

母語としての日本語と外国語としての英語の連携的学びで得られるものとは何か —国語教育と英語教育の連携の実践、理論的背景、歴史・意義にもとづいて—

- 三好徹明 (関西国際大学)
- 秋山英治 (愛媛大学)
- 寺西創 (和歌山県立向陽高等学校)
- 栗原達也 (桐朋中学校・高等学校)

R-4 会場 F302 講義室 (○=コーディネーター)

「自省録(宮澤トシ)」をめぐる(5) —ジェンダー論的観点から—

- 望月善次 (元岩手大学)
- 大澤千恵子 (東京学芸大学)
- 千田洋幸 (東京学芸大学)
- 小久保美子 (元新潟大学)
- 佐藤宗大 (玉川大学)

R-5 会場 F303 講義室 (○=コーディネーター)

高校国語の現在とこれから(1) —「主体的・対話的で深い学び」の実装を中心に—

- 稲井達也 (大正大学)
- 有働玲子 (聖徳大学)
- 小沢貴雄 (鹿児島女子短期大学)
- 小川一美 (東京学芸大学附属国際中等教育学校)
- 畑綾乃 (筑波大学附属高等学校)

R-6 会場 F304 講義室 (○=コーディネーター)

生成 AI と国語教育の共創 —「思考のプロセス」をいかに導くか—

- 野中潤 (都留文科大学)
- 渡邊光輝 (お茶の水女子大学附属中学校)
- 宮城信 (富山大学)

R-7 会場 F305 講義室 (○=コーディネーター)

日本語語彙力向上を目指す学習支援アプリの可能性 —一日英複言語的アプローチの観点から—

- 大塚みさ (実践女子大学)
- 三田薫 (実践女子大学)
- 伊藤雅人 (京都市立日吉ヶ丘高等学校)

<プライベート 5月23日(土)> 別日程 *一般公開/無料/参加申込が別途必要

○ 公開講座[Zoomミーティング] 14:00~17:00

研究にもとづく授業づくり④ ー漢文教育のこれまでとこれからー

司会・進行 甲斐 伊織 (学習院中等科)
話題提供者 (五十音順) 薄井 俊二 (埼玉大学)
富安 慎吾 (島根大学)
樋口 敦士 (狭山ヶ丘高等学校)

- ・ 公開講座は別日程でオンラインにて開催し、会員外にも無料で公開します。
 - ・ 公開講座にのみご参加の際、大会自体への参加申込は不要ですが、公開講座への参加申込手続きを事前にお済ませください (先着順・定員制)。
 - ・ 大会参加者でも、公開講座へのご参加には、事前の申込手続きが別途必要です。
- 関連情報は 大会広報サイト (3.) に随時掲載します。申込方法もサイトでご案内します。

5. ご参加の際の留意点 (重要)

※ ◎ = 本大会独自の事項

[すべての方へ (1)] 参加申込・ご来場

- 参加申込の方法や金額などの詳細は、一次案内をご覧ください。

大会広報サイトからも情報を得られます。

- **当日、現金での申込・支払はできません (1.を参照)。**

領収書は【発表・参加申込システム】の「領収書自動発行」から発行できます。

本大会では、eduroam アカウントをお持ちなら学内無線LANを無料利用できますが、アカウントのない方は、モバイル Wi-Fi をお持ちになるか、資料等のご来場前ダウンロードをお願いします。

- ◎ **ご来場には公共交通機関をご利用ください (2.を参照)。**

スタッフによる会場までの誘導はありません (地図アプリでは「**大和大学 正門**」で検索)。

- **契約上、開場の時刻は早められません (3.を参照)。** 開場までは外でお待ちいただきます。

- ◎ 吹田駅コインロッカーは数が少なく、また全体会場が最上階の最奥部に位置するため、本大会では**本部[1階入口隣 F101]内に「荷物置き場」**を設けます。ただし管理責任は負えません。貴重品は置かず、またご不安なら南京錠や駐輪用チェーンをお持ちになるなど、各自で管理願います。

[すべての方へ (2)] 当日の動き

- **【発表・参加申込システム】「参加証自動発行」から参加証をご自身で印刷し、会場へお持ちください。** 「参加証」は昼食引換・懇親会入場にも必要ですから、**必ずお持ちください** (※印刷は**5月21日(木)から可能**になる予定)。なお、本大会では前々回三重大会・前回早稲田大会同様、当日には受付デスクを設けません。
- **当日は、正門向かって右手すぐ「E棟」中庭側の学生食堂ウッドデッキ沿いに、E棟脇を奥へ100m直進し、「F棟」エントランスへお越しの上、「参加証」を入口でご提示ください。** ご入場の際には、**名札フォルダ等をテーブルから各自お取りください (セルフサービス)。**
- 万一、参加者証をお忘れの際は、申込時に受信した「参加申込完了通知」メールをエントランスでご提示の上、空白の参加証にご自身でご記入ください。その手続きには時間を要し、開始時刻に間に合わないなどのケースも生じうることをご承知おきください。
- 発表者には事務局から、当日資料を配付する際は100部の準備を依頼していますが、**紙資料に**

不足が生じるなどの際は資料データをご利用ください。「大会資料サイト」のアドレスとID・パスワードは、後日ご案内します。PCやタブレット端末等の携行をお勧めします。

- PC等は予め充電してからご来場ください。
- ◎ 本大会は近年で最大規模の会場数に匹敵し、各会場配置スタッフの不足が見込まれます(※会場校に大学院なし、卒業生は今春で9期、教採試験前倒して学生確保に苦慮)。空調・照明・音響等にもしも不具合が生じた際は、その解消には可能な範囲内で、会員各位のお力添えを賜れますと幸いです。
- ◎ 駅・会場周辺には飲食店、スーパー、コンビニエンス/ドラッグストアなどが豊富にございますが、会場近隣は土日昼間、周辺住民等で混雑します。当日、大学内の学生食堂は営業しません。

[発表者の方へ]

- パソコンは発表者持ち込みでお願いします。本大会では各会場にHDMIケーブルを用意します。MAC(アップル社)やSurface(マイクロソフト社)などコネクタ形状の異なるものを接続する際は、接続アダプターを必ずご自身でご用意ください(※接続アダプターのお忘れによるトラブルが例年発生しております)。また万一に備え、発表資料データを入れたUSBメモリもお持ちください。ただし、**本大会の会場には据付パソコンがございません。**
- 紙の当日資料は会場運営の都合上、A4判で極力作成してください。**100部を作成し、当日は各教室までお持ちになり、うち2部を司会に渡して、残部を資料配付用机にご自身で発表順にお並べください。**宅配預かり、印刷、2日目資料の1日目預かりなどは一切承れません。
- **当日使用するデジタル資料のアップは任意ですが、PCやタブレット端末での閲覧を希望される方も多く、紙資料不足時への備えもあり、資料のアップには極力ご協力ください。**
- 当日に紙資料を配付されない場合でも、進行や座席配置の都合上、**投影データがある場合はそのハンドアウト(出力紙)2部を司会に、差し支えない範囲でご提供ください。**
- **デジタル資料は次のURLへPDFで5/29金までに提出してください。**ファイル名に「**会場番号-発表順 お名前**」を正確に記載願います(例:「**8-5 全国花子 当日.pdf**」「**R2-4 全国太郎 当日.pdf**」)。プログラムの番号をよくご確認ください。他の資料は絶対に操作しないでください。学習者等の個人情報や著作権の取り扱いにご注意の上、必要な手続きは各自でお取りください。
*資料 **投稿先** : **Googleアカウントにログインした上で操作してください。**
https://drive.google.com/drive/folders/1SMQgTSKimKeBA87a1_jUD3n893x2-dBm?usp=sharing ※Googleアカウントのない方は取得してください(無料)。
*資料 **閲覧時** 「大会資料サイト」アドレスとID・パスワードは、後日ご案内します。

*資料 **投稿先** はこちらからも可→



- ラウンドテーブル各会場の設営と使用後の復旧は、各会場にて使用者自身で行ってください。

[要旨集をご希望の方へ]

- 紙媒体の『発表要旨集』を事前申込期間内にご注文の方には、当日までにご登録住所へ発送します(5月20日(水)予定)。PDF版の『発表要旨集』は、当日までに参加者全員にデータで配付します(5月21日(水)予定)。データのダウンロード方法については、改めてメールでご案内します。

6. お問い合わせ先

●参加申込・発表申込・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会 大会ヘルプデスク

E-mail : jtsj-desk@conf.bunken.co.jp FAX : 03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●年会費に関すること

全国大学国語教育学会 事務局

E-mail : jtsj-post@bunken.co.jp TEL : 03-6824-9377 FAX : 03-5227-8631

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

●第150回全国大学国語教育学会 新大阪吹田大会 に関すること

大会実行委員会（お問い合わせはEメールでお願いします）

E-mail : funahashi.hideaki@yamato-u.ac.jp

〒564-0082 大阪府吹田市片山町2-5-1 大和大学教育学部 舟橋 秀晃 宛

●新大阪吹田大会 実行委員会

実行委員長 舟橋 秀晃（大和大学教育学部 国語教育専攻）[国語教育学]

事務局長 田川 学（大和大学教育学部 国語教育専攻）[国語教育学]

実行委員 富江 宏（大和大学教育学部 国語教育専攻）[国語学]

上本 雅也（大和大学教育学部 国語教育専攻）[漢文学]

礪波美和子（大和大学教育学部 国語教育専攻）[古典文学]

以上

JR吹田駅からのアクセス方法



① JR吹田駅東出口へ



東出口から改札方面へ。大阪方面からは先頭車両、京都方面からは最後尾車両に乗車すると便利です。

東口改札を左折



東口改札を出てすぐ左折してください。

② 地下道を直進



左手にコンビニ、パン屋さん等が並ぶ地下道を直進します。

③ 地下道を出て直進



地下道を出た歩道を直進。左手にアサヒビール工場があります。

④ 片山町2丁目東交差点を左折



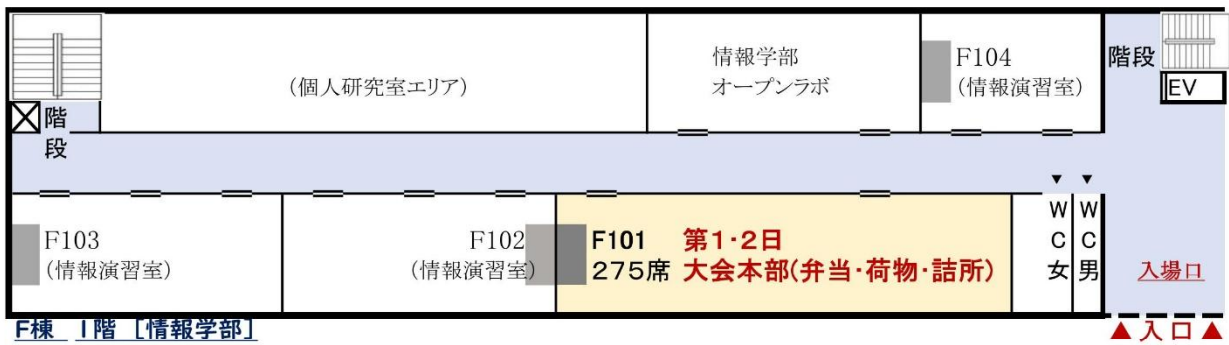
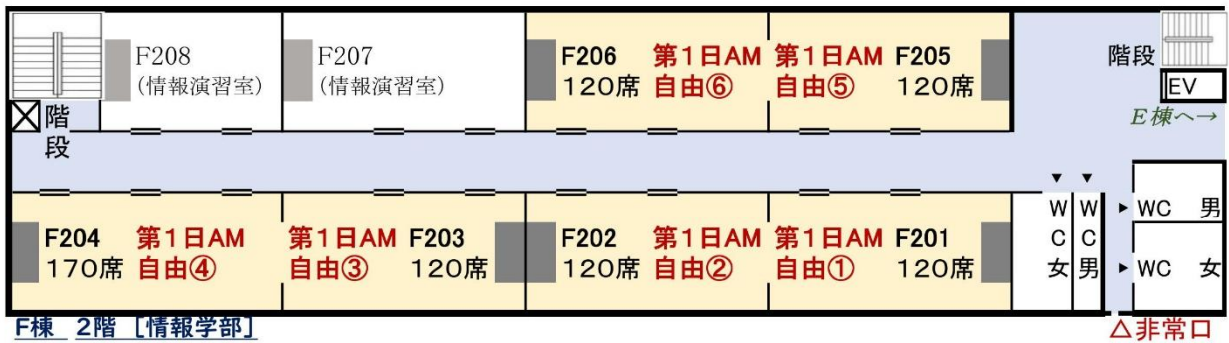
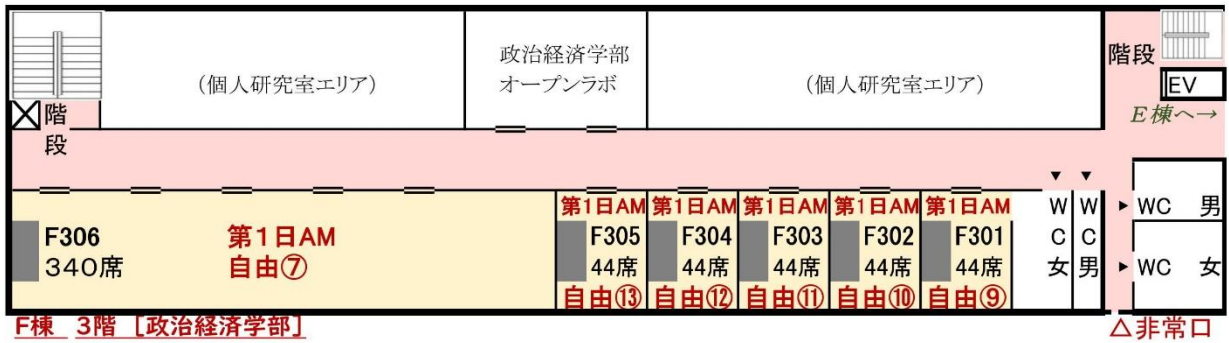
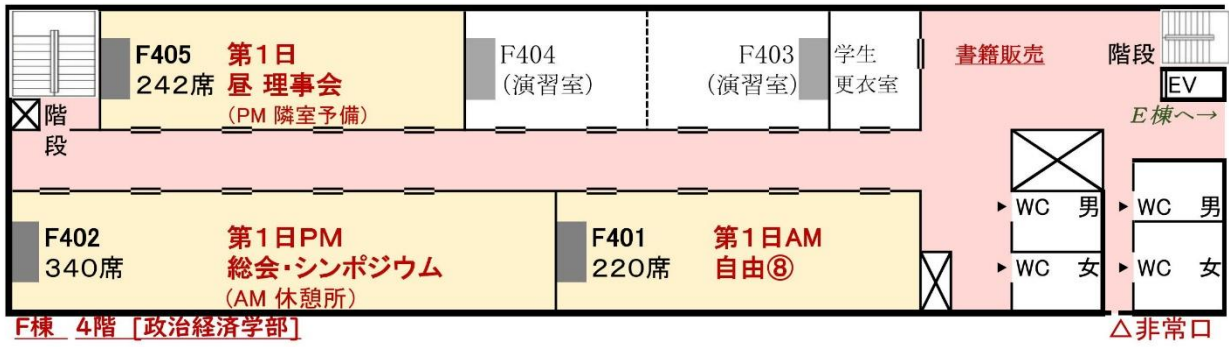
片山町2丁目東交差点を左折。左折するとすぐ右手にコンビニ（ローソン）が見えてきます。

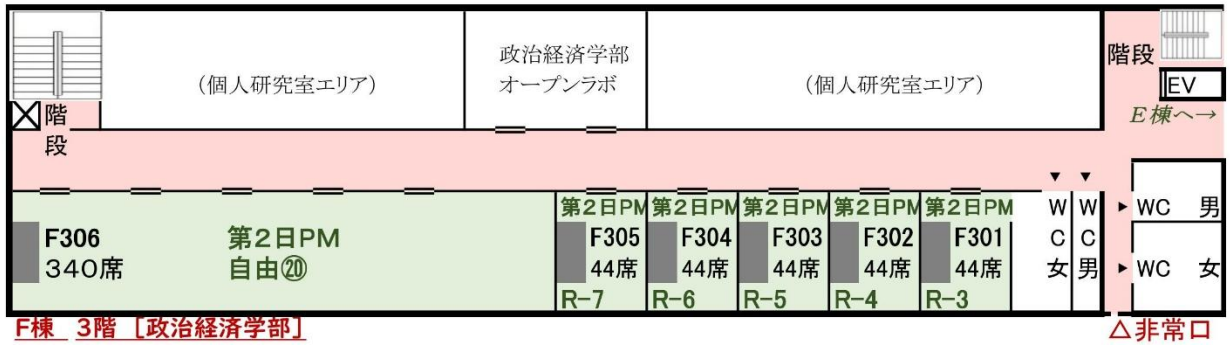
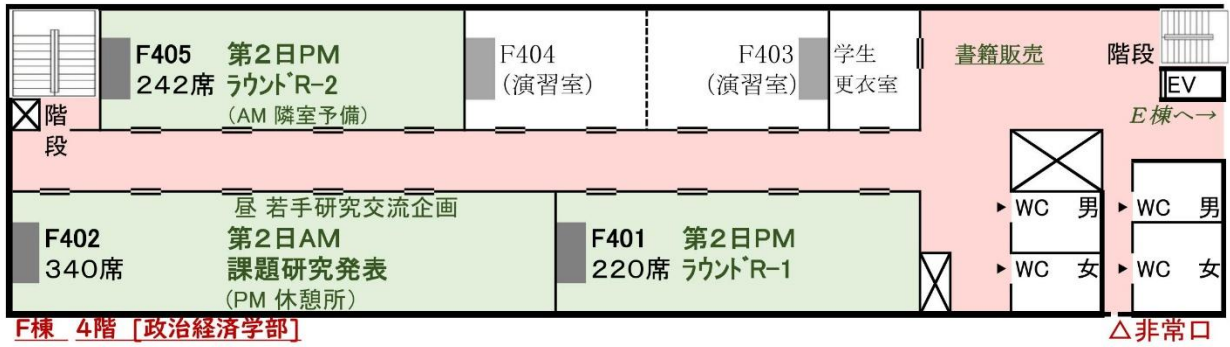
⑤ 横断歩道をコンビニ側へ



次の横断歩道をコンビニ（ローソン）側へ渡ると、キャンパスは目前です。

* 訂正 ② 地下道の「パン屋さん」は退店し、今はシュークリーム専門店(ビアドパパ)が入居中です。

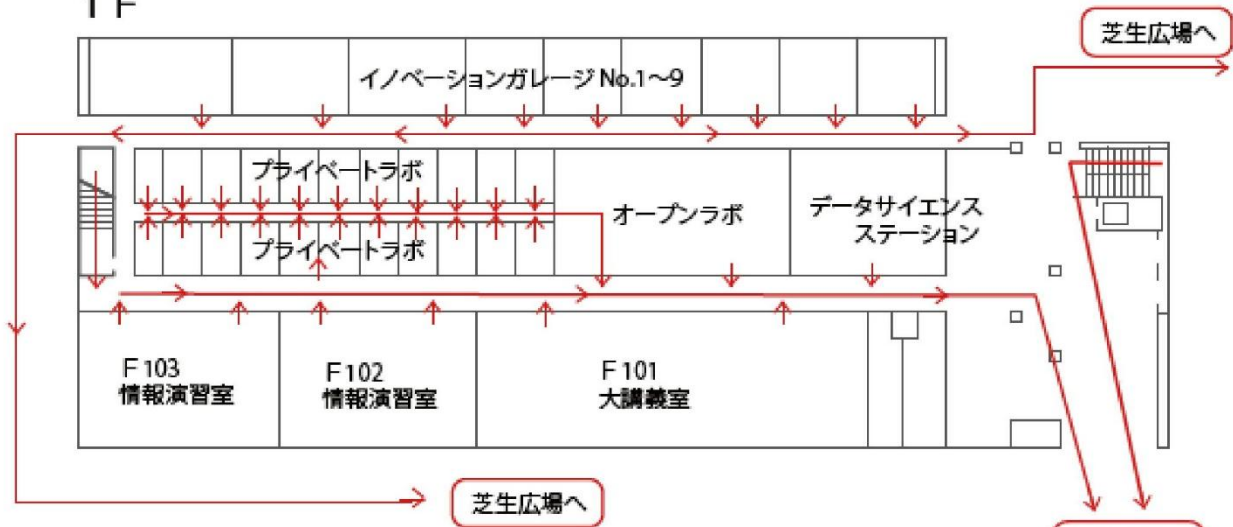




避難経路図

F 講義棟 (情報学部棟)

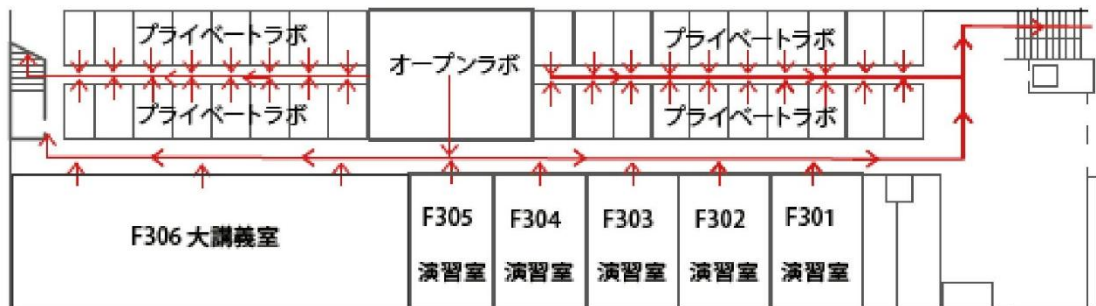
1 F



2 F



3 F



4 F

